

当業界の実行計画は、参加企業一体となって、目標完遂を目指すこととしている。

低炭素社会実行計画参加者リスト

電機・電子温暖化対策連絡会

グループ名／企業名(グループ企業50音順)
アズビル株式会社
アルパイン株式会社
アルプス電気株式会社
アンリツ国内グループ (10社)
アンリツ株式会社
アンリツ産機システム株式会社
東北アンリツ株式会社
アンリツカスタマーサポート株式会社
アンリツデバイス株式会社
アンリツネットワークス株式会社
アンリツエンジニアリング株式会社
ATテクマック株式会社
アンリツ興産株式会社
株式会社アンリツプロアソシエ
NECグループ(19社)
日本電気株式会社
NECエナジーデバイス株式会社
NECエンジニアリング株式会社
NECエンベデッドプロダクツ株式会社
NECエンベデッドテクノロジー株式会社
埼玉日本電気株式会社
株式会社 高砂製作所
株式会社 高砂電子機器製作所
NECディスプレイソリューションズ株式会社
長野日本電気株式会社
日本アビオニクス株式会社
山梨アビオニクス株式会社
福島アビオニクス株式会社
NECプラットフォームズ株式会社
NECネットワーク・センサ株式会社
NECネットワークプロダクツ株式会社
NECマグナスコミュニケーションズ株式会社
NECライティング株式会社
山梨日本電気株式会社
OKIグループ (13社)
沖電気工業株式会社
静岡沖電気株式会社

長野沖電気株式会社
沖プリントドサーキット株式会社
株式会社沖電気コミュニケーションシステムズ
株式会社沖データ
株式会社沖デジタルイメージング
沖マイクロ技研株式会社
株式会社OKIテクノパワーシステムズ
株式会社OKIメタルテック
株式会社沖センサデバイス
株式会社OKIプロサーブ
OKIサーキットテクノロジー株式会社
オムロン株式会社
オリンパスグループ（10社）
オリンパス株式会社
オリンパスイメージング株式会社
オリンパスメディカルシステムズ株式会社
会津オリンパス株式会社
白河オリンパス株式会社
青森オリンパス株式会社
長野オリンパス株式会社
オリンパステルモバイオマテリアル株式会社
オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社
オリンパスロジテックス株式会社
カシオグループ（3社）
カシオ計算機株式会社
山形カシオ株式会社
カシオ電子工業株式会社
キヤノン株式会社
京セラ株式会社
京セラドキュメントソリューションズグループ（2社）
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社
航空電子グループ（5社）
日本航空電子工業株式会社
弘前航空電子株式会社
山形航空電子株式会社
富士航空電子株式会社
信州航空電子株式会社
コニカミノルタ株式会社
サンケン電気株式会社グループ（6社）
サンケン電気株式会社
石川サンケン株式会社
山形サンケン株式会社
福島サンケン株式会社
鹿島サンケン株式会社
サンケンオプトプロダクツ株式会社
株式会社JVCケンウッドグループ（6社）
株式会社JVCケンウッド
株式会社JVCケンウッド・クリエイティブメディア

株式会社JVCケンウッド・デバイス
株式会社JVCケンウッド長野
株式会社JVCケンウッド山形
株式会社JVCケンウッド長岡
株式会社島津製作所
株式会社ジャパンディスプレイ
シャープグループ（3社）
シャープ株式会社
シャープ米子株式会社
シャープ三重株式会社
新電元工業株式会社グループ（5社）
新電元工業株式会社
株式会社秋田新電元
株式会社東根新電元
株式会社岡部新電元
新電元スリーイー株式会社
シンフォニアテクノロジー株式会社
セイコーエプソン株式会社グループ（2社）
セイコーエプソン株式会社
東北エプソン株式会社
ソニーグループ（2社）
ソニー株式会社
ソニーセミコンダクタ株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社ダイヘン
太陽誘電グループ（8社）
太陽誘電株式会社
太陽化学工業株式会社
赤城電子株式会社
新潟太陽誘電株式会社
株式会社ザッツ福島
中紀精機株式会社
太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社
太陽誘電エナジーデバイス株式会社
株式会社タムラ製作所
TDKグループ（9社）
TDK株式会社
TDK-EPC株式会社
TDKラムダ株式会社
TDK-MCC株式会社
TDK羽後株式会社
TDK由利本荘株式会社
TDK庄内株式会社
TDK甲府株式会社
TDKプレシジョンツール株式会社
寺崎電気産業株式会社
株式会社東光高岳
東芝グループ（10社）
株式会社 東芝
東芝ソリューション株式会社

東芝テック株式会社
東芝キヤリア株式会社
東芝ライテック株式会社
東芝ライフスタイル株式会社
東芝ホームテクノ株式会社
東芝産業機器システム株式会社
北芝電機株式会社
西芝電機株式会社
株式会社ナカヨ
日新電機株式会社
日本ケミコン株式会社グループ(8社)
日本ケミコン株式会社
ケミコン岩手株式会社
ケミコン宮城株式会社
ケミコン福島株式会社
ケミコン米沢株式会社
福島電気工業株式会社
ケミコン山形株式会社
ケミコン長岡株式会社
日本電業工作株式会社
パイオニアグループ(2社)
パイオニア株式会社
パイオニアホームエレクトロニクス株式会社
パナソニックグループ(2社)
パナソニック株式会社
三洋電機株式会社
株式会社日立製作所グループ(5社)
株式会社 日立製作所
株式会社 日立産機システム
日立アプライアンス 株式会社
株式会社 日立メディコ
株式会社 日立国際電気
富士通グループ(18社)
富士通株式会社
富士通アイソテック株式会社
株式会社富士通ITプロダクツ
富士通インターコネクテクトテクノロジーズ株式会社
FDK株式会社
FDKエナジー株式会社
FDK鳥取株式会社
FDKトワイセル株式会社
富士通オプティカルコンポーネンツ株式会社
富士通コンポーネント株式会社
株式会社しなの富士通
株式会社島根富士通
富士通周辺機株式会社
新光電気工業株式会社
富士通テレコムネットワークス株式会社
富士通テン株式会社
富士通フロンテック株式会社
宮崎富士通コンポーネント株式会社
富士通ゼネラルグループ(4社)
株式会社 富士通ゼネラル
株式会社 富士通ゼネラルエレクトロニクス

株式会社 富士通ゼネラル情報システム
株式会社 富士エコサイクル
富士ゼロックス株式会社グループ（2社）
富士ゼロックス株式会社
富士ゼロックスマニュファクチャリング株式会社
富士電機株式会社グループ（24社）
富士電機株式会社
富士電機機器制御株式会社
株式会社茨城富士
発紘電機株式会社
GE富士電機メーター株式会社
富士電機千葉テック株式会社
富士電機パワーセミコンダクタ株式会社
富士電機エフテック株式会社
株式会社秩父富士
信州富士電機株式会社
宝永プラスチック株式会社
株式会社三重富士
富士アイティ株式会社
富士電機ITソリューション株式会社
富士電機FAサービス株式会社
宝永電機株式会社
北海道富士電機株式会社
富士電機テクニカ株式会社
富士古河E&C株式会社
富士電機オフィス&ライフサービス株式会社
富士電機ITセンター株式会社
富士電機フィアス株式会社
株式会社フェステック
富士電機津軽セミコンダクタ株式会社
ブラザー工業株式会社
マイクロンメモリジャパン株式会社
三菱電機グループ（11社）
三菱電機株式会社
三菱電機FA産業機器株式会社
菱電旭テクニカ株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
三菱電機照明株式会社
光菱電機株式会社
株式会社デービー精工
メルコ・ディスプレイ・テクノロジー株式会社
メルコアアドバンスデバイス株式会社
三信電子株式会社
メルコパワーデバイス株式会社
村田製作所グループ（23社）
株式会社村田製作所
株式会社登米村田製作所

株式会社金沢村田製作所
株式会社アズミ村田製作所
株式会社大垣村田製作所
株式会社小諸村田製作所
株式会社富山村田製作所
株式会社穴水村田製作所
株式会社ワクラ村田製作所
株式会社氷見村田製作所
株式会社ハクイ村田製作所
株式会社小松村田製作所
株式会社金津村田製作所
株式会社アスワ村田製作所
株式会社福井村田製作所
株式会社鯖江村田製作所
村田土地建物株式会社
株式会社岡山村田製作所
株式会社出雲村田製作所
株式会社イワミ村田製作所
東京電波株式会社
盛岡東京電波株式会社
北見東京電波株式会社
株式会社明電舎
株式会社安川電機グループ（3社）
株式会社安川電機
安川コントロール株式会社
安川テクノプレート株式会社
横河電機グループ（2社）
横河電機株式会社
横河マニュファクチャリング株式会社
株式会社リコー
理想科学工業株式会社
ルネサスエレクトロニクス株式会社グループ（6社）
ルネサスエレクトロニクス株式会社
株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ
ルネサス山形セミコンダクタ株式会社
株式会社ルネサス柳井セミコンダクタ
ルネサス関西セミコンダクタ株式会社
ルネサスセミコンダクタ九州・山口株式会社
ルビコン株式会社グループ（3社）
ルビコン株式会社
秋田ルビコン株式会社
福島ルビコン株式会社
ローム株式会社グループ（8社）
ローム株式会社
ローム浜松株式会社
ローム・ワコー株式会社
ローム・アポロ株式会社
ローム・メカテック株式会社
ローム・ロジステック株式会社
ラピスセミコンダクタ宮城株式会社
ラピスセミコンダクタ宮崎株式会社


### ○注意点

・計画参加企業名及び業種分類について記載。

※以下の事業者・事業所については、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法、平成10年法律第117号)の規定により、行政に報告した「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素」の算定排出量を記載。

①全ての事業所の原油換算エネルギー使用量合計が1,500kl/年以上となる事業者(省エネ法の特定事業者)

②原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上となる事業所(省エネ法のエネルギー管理指定工場等)

※温対法の温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度において、非開示とされた事業所においてはCO2算定排出量の記載は不要。

※原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年未満の事業所については、事業所名を含め記載不要。

### ○業界分類

- |                          |                       |                    |           |        |
|--------------------------|-----------------------|--------------------|-----------|--------|
| (1)パルプ                   | (2)紙                  | (3)板紙              | (4)石油化学製品 |        |
| (5)アンモニア及びアンモニア誘導品       | (6)ソーダ工業品             | (7)化学繊維            |           |        |
| (8)石油製品(グリースを除く)         | (9)セメント               | (10)板硝子            | (11)石灰    |        |
| (12)ガラス製品                | (13)鉄鋼                | (14)銅              | (15)鉛     | (16)亜鉛 |
| (17)アルミニウム               | (18)アルミニウム二次地金        | (19)土木建設機械         |           |        |
| (20)金属工作機械及び金属加工機械       | (21)電子部品              | (22)電子管・半導体素子・集積回路 |           |        |
| (23)電子計算機及び関連装置並びに電子応用装置 | (24)自動車及び部品(二輪自動車を含む) |                    |           |        |
| (25)その他                  |                       |                    |           |        |





## 前年度からの変更点

項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標	2013年度	実質生産高CO2排出原単位	エネルギー原単位改善率	1. 多種多様な業態・事業の中で、それらの省エネ努力を適切に評価(各業態・事業毎にそのエネルギー使用量と相関のある適切な活動量で評価)するために、省エネ法でも用いられている「エネルギー原単位改善率」を目標指標とした。 2. 電力 CO2 原単位の変動の影響を排除した。
2. 目標水準	2013年度	1990年度比35%改善	2020年に向けて、年平均1%の達成 ※ 目標達成の判断は、基準年度(2012年度)比で2020年度に7.73%以上改善	1. 前身の自主行動計画の積極的な推進により、長く省エネ投資を続けて来たことから、高効率機器の導入など従来対策に係る投資単価は年々増大傾向にある。こうした中で、自主行動計画の最終段階では年率1%程度の改善に留まった。 2. 継続して省エネ・地球温暖化防止への取り組みを進めてきたことにより、売上高あたりの温室効果ガス排出量原単位は、既に、デバイス、家電製品などの分野において世界の同業他社と比較してもトップクラスにあるが、今後もこれを堅持していく。
3. 前提条件	2013年度	購入電力CO2排出原単位の改善分を自身の目標に組み込み(設定当時の電力自主行動計画:90年度比20%改善)	左記前提なし	エネルギー原単位改善率を目標指標としたため。
	2013年度		景気変動等の外的要因により業界の国内活動が著しく悪化することが明らかになった場合、必要に応じて、計画の再検討を行う	国際市場でのビジネス展開が進み、局所的な景気変動が国内事業活動に与える影響の拡大を受け、左記の見直し規定を追加した。
4. 想定しているBAT	2013年度			
5. データの取扱	2013年度			
6. 業界間バウンダリー	2013年度			
7. 参加対象	2013年度	工場のみ	工場とオフィス	・対象を拡大 ・省エネ法定定期報告との整合をはかることにより客観性を向上させる

※上記6項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載。2013年度フォローアップにおいては、2012年度までの自主行動計画からの変更点、2014年度以降は前年度からの変更点があれば記載する。過去の変更情報も残しておくこと。また、行は必要に応じて追加すること。

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO2排出量、CO2排出原単位の実績と見通し

○調整後排出係数ケース（実績）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標
生産活動量	(10億円・実質生産高)	34,332	51,553	50,860	52,872	59,997	58,506	62,852	69,309	75,362	80,555	86,353	96,988	89,833	79,347	84,595	79,958	53,202	54,965	0	0
	目標比																				
	基準年度比	0.65	0.97	0.96	0.99	1.13	1.10	1.18	1.30	1.42	1.51	1.62	1.82	1.69	1.49	1.59	1.50	1.00	1.03	0.00	0.00
エネルギー消費量	万kl	646	840	815	819	832	803	839	935	978	994	1,048	1,118	1,009	963	956	875	597	563	0	0
	進捗率(目標比)																				
	想定比																				-
	基準年度比	1.08	1.41	1.36	1.37	1.39	1.34	1.40	1.57	1.64	1.66	1.76	1.87	1.69	1.61	1.60	1.46	1.00	0.94	0.00	0.00
CO2排出量（調整後）	万t-CO2	1,112	1,302	1,247	1,307	1,382	1,328	1,453	1,699	1,730	1,804	1,843	2,109	1,625	1,468	1,450	1,704	1,178	1,285	0	0
	進捗率(目標比)																				
	想定比																				-
	基準年度比	0.94	1.11	1.06	1.11	1.17	1.13	1.23	1.44	1.47	1.53	1.56	1.79	1.38	1.25	1.23	1.45	1.00	1.09	0.00	0.00
エネルギー原単位	kl/百万円	0.188	0.163	0.160	0.155	0.139	0.137	0.133	0.135	0.130	0.123	0.121	0.115	0.112	0.121	0.113	0.109	0.112	0.102		0.104
	進捗率(目標比)																			113%	1.00
	想定比																				-
	基準年度比	1.67	1.45	1.43	1.38	1.24	1.22	1.19	1.20	1.16	1.10	1.08	1.03	1.00	1.08	1.01	0.97	1.00	0.91		0.923
CO2排出原単位	t-CO2/百万円	0.324	0.253	0.245	0.247	0.230	0.227	0.231	0.245	0.230	0.224	0.213	0.217	0.181	0.185	0.171	0.213	0.221	0.234		0.000
	進捗率(目標比)																				
	想定比																				-
	基準年度比	1.46	1.14	1.11	1.12	1.04	1.03	1.04	1.11	1.04	1.01	0.96	0.98	0.82	0.84	0.77	0.96	1.00	1.06		0.00
カバー率実績(企業数)		0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	51.8%	53.5%	0.0%	-

○調整後排出係数ケース（想定）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標
生産活動量	(10億円・実質生産高)																		0	0	0
	想定値/実績値																				-
エネルギー消費量	万kl																		0	0	0
	想定値/実績値																				-
CO2排出量	万t-CO2																		0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																				-
エネルギー原単位	kl/百万円																		0.111	0.110	0.104
	想定値/実績値																		92.2%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円																		0.00	0.00	0.00
	想定値/実績値																				-
カバー率(市場規模)																			0.0%	0.0%	-

【備考】

※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（%）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（%）

※カバー率実績（企業数）：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

CO2排出量とCO2排出原単位の要因分析 -調整後排出係数-

(単位:万t-CO2)	97→98	98→99	99→00	00→01	01→02	02→03	03→04	04→05	05→06	06→07	07→08	08→09	09→10	10→11	11→12	12→13	基準年→13
CO2排出量	-55	60	75	-53	125	245	31	74	39	267	-485	-157	-18	254	-527	107	107
事業者の省エネ努力分	-22	-44	-148	-15	-38	17	-67	-88	-30	-102	-48	120	-104	-52	37	-113	-113
燃料転換等による変化	34	20	2	-7	-10	-9	1	9	-47	-35	-35	-27	-11	19	12	-8	-8
購入電力分原単位変化	-50	33	51	2	73	84	-46	35	-11	175	-259	-58	4	376	6	188	188
生産変動分	-17	50	170	-34	100	154	144	118	127	229	-142	-192	94	-89	-581	40	40
※検算	-55	60	75	-53	125	245	31	74	39	267	-485	-157	-18	254	-527	107	107

1000.000

(単位:t-CO2/10億円)	97→98	98→99	99→00	00→01	01→02	02→03	03→04	04→05	05→06	06→07	07→08	08→09	09→10	10→11	11→12	12→13	基準年→13
CO2排出原単位の増減	-7.308	1.934	-16.821	-3.272	4.186	13.832	-15.507	-5.630	-10.531	4.089	-36.621	4.114	-13.545	41.724	8.168	12.4	12.4
事業者の省エネ努力分	-1.638	-6.465	-26.100	-2.662	-6.523	2.319	-9.103	-10.651	-4.792	-11.743	-5.849	13.318	-13.110	-5.840	5.795	-20.7	-20.7
燃料転換等による変化	0.607	-0.538	-0.036	-0.767	-0.988	-0.578	-0.362	-1.366	-0.856	-0.850	-0.574	-0.573	-0.039	0.190	-1.688	0.4	0.4
購入電力分原単位変化	-6.278	8.936	9.315	0.157	11.697	12.091	-6.042	6.387	-4.882	16.682	-30.198	-8.631	-0.397	47.374	4.062	32.7	32.7
※検算	-7.308	1.934	-16.821	-3.272	4.186	13.832	-15.507	-5.630	-10.531	4.089	-36.621	4.114	-13.545	41.724	8.168	12.404	12.404

## 実施した対策、投資額と削減効果

	番号	対策名/対策内容	対策実施率	投資額		削減効果	
				数量	単位	数量	単位
2012年度 まで	1	管理強化		764	百万円	70,618	t-CO2
	2	高効率機器の導入		9,797	百万円	53,954	t-CO2
	3	生産のプロセス又は品質改善		209	百万円	53,950	t-CO2
	4	制御方法改善		540	百万円	14,386	t-CO2
	5	コージェネレーション、蓄熱		256	百万円	9,321	t-CO2
2013年度	1	生産のプロセス又は品質改善		2,515	百万円	46,738	t-CO2
	2	管理強化		409	百万円	34,155	t-CO2
	3	高効率機器の導入		9,937	百万円	31,309	t-CO2
	4	制御方法改善(回転数制御 他)		427	百万円	23,563	t-CO2
	5	コージェネレーション、蓄熱、蓄電		254	百万円	7,335	t-CO2
2014年度	1	生産のプロセス又は品質改善		1,578	百万円	30,100	t-CO2
	2	高効率機器の導入		6,569	百万円	24,196	t-CO2
	3	管理強化		478	百万円	22,682	t-CO2
	4	制御方法改善(回転数制御 他)		1,944	百万円	14,283	t-CO2
	5	新エネ・未利用エネルギー		488	百万円	2,582	t-CO2
2015年度	1						
	2						
	3						
	4						
	5						

注:2012年度までの値は、自主行動計画での実績値であり、低炭素社会実行計画と対象範囲は異なる。

- ※1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3～5つ程度記載。  
 ※2 「2012年度まで」欄には、自主行動計画期間中に実施した対策のうち、主要な対策を3～4つ程度記載。  
 ※3 対策実施率は、業界内での対策の実施状況(最新設備の導入率等)を記載。  
 ※4 2014年度に実施予定の対策は必ず記入すること。

## クレジット等の活用実績

## ○クレジット合計(参考)

単位:t-CO2

	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償却量	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## ○京都メカニズムクレジット

単位:t-CO2

	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)									
償却量									

## ○JCMクレジット

単位:t-CO2

	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									

## ○J-クレジット(国内クレジットも含む)

単位:t-CO2

	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									

※ 京都メカニズムクレジットにおいては、政府口座への償却前移転量とする。

## 業務部門(本社等オフィス)の対策実施状況

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
省エネ対策 実施率	実施 済み	35.3%							
	+今後 実施予定	42.2%							

## 調査対象施策

	設備等	項目
負荷の 低減	空調負荷 (建物及び機器)	室内温度条件の緩和
		冷房時除湿制御の取止め
		在室者に合わせ外気量の削減
		起動時の外気導入制御
		ミキシングロスの防止
		全熱交換器の運転停止(手動制御)
		ポンプ、ファンのインバータ採用による流量調整
		照明器具にインバータ安定器採用
熱源機器の 効率運転	熱源設備 ターボ、ガス吸収式、 DHC等	燃烧機器の空気比調整
		台数制御の最適運転 (設定値の変更/機種・容量が違う場合のローテーションの見直し等)
		手動によるこまめな調整
		冷水/温水出口温度設定の変更 (大負荷時・部分負荷時)
		冷却水温制御の設定値変更
搬送動力の 節約	ポンプ類	冷温水量の変更(可能な範囲での大温度差化)
		台数制御の効率運転
		冷却水量変更
	空調機 送風機	送風量変更
		VAV方式の場合の送風温度の変更
		省エネベルトの採用
運用管理	空調設備	立ち上がり時間の短縮
		残業運転の短縮または取りやめ
		在室者の状況に合わせて間欠運転または停止
		ナイトパージ
		空気分布の適正化
	換気設備	可能な個所の換気中止
		間欠運転
	給水・給湯設備	給湯時間・範囲の制限
		給湯温度の設定変更
		節水器具の採用
	電気設備	高効率照明器具の使用
		高機能形照明器具の使用
		照度の適正化
		水銀ランプの高効率化
誘導灯の高輝度化		
照明制御システムの導入		
一般電球の省エネ化		
変圧器容量の見直し		
建物関係 その他	ブラインド類の適切な運用	
	エアークリアの適正化	
	中間期の扉・窓開放(自然換気)	
	エレベーターの適正運転管理	
	自動販売機運転適正管理	

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO2排出量、CO2排出原単位の実績と見通し

○業界指定ケース（実績）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)																					
	目標比																					
	基準年度比																					
エネルギー消費量	万kl																					
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					
CO2排出量（業界指定）	万t-CO2																					
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					
エネルギー原単位	基準年度比																					
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					
CO2排出原単位	基準年度比																					
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					
カバー率実績(企業数)																						

○業界指定ケース（想定）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)																					
	想定値/実績値																					
エネルギー消費量	万kl																					
	想定値/実績値																					
CO2排出量	万t-CO2																					
	想定値/実績値																					
エネルギー原単位	想定値/実績値																					
CO2排出原単位	想定値/実績値																					
カバー率(市場規模)																						

【備考】

※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（％）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（％）

※カバー率実績（企業数）：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

## ○電力固定ケース（実績）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)	34,332	51,553	50,860	52,872	59,997	58,506	62,852	69,309	75,362	80,555	86,353	96,988	89,833	79,347	84,595	79,958	53,202	54,965	0	0	
	目標比																					
	基準年度比	0.65	0.97	0.96	0.99	1.13	1.10	1.18	1.30	1.42	1.51	1.62	1.82	1.69	1.49	1.59	1.50	1.00	1.03	0.00	0%	
エネルギー消費量	万kl	646	840	815	819	832	803	839	935	978	994	1,048	1,118	1,009	963	956	875	597	563	0	0	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					-
CO2排出量(固定)	万t-CO2	1,249	1,612	1,573	1,583	1,668	1,604	1,669	1,856	1,939	2,007	2,104	2,233	2,009	1,910	1,895	1,737	1,178	1,126	0	0	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					-
エネルギー原単位	kl/百万円	0.188	0.163	0.160	0.155	0.139	0.137	0.133	0.135	0.130	0.123	0.121	0.115	0.112	0.121	0.113	0.109	0.112	0.102		0.104	
	進捗率(目標比)																			113%		100%
	想定比																			873%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円	0.364	0.313	0.309	0.299	0.278	0.274	0.266	0.268	0.257	0.249	0.244	0.230	0.224	0.241	0.224	0.217	0.221	0.205		0.000	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					-
カバー率実績(企業数)		0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	51.8%	53.5%	0.0%	-

## ○電力固定ケース（想定）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)																			0	0	0
	想定値/実績値																					-
エネルギー消費量	万kl																			0.0	0.0	0
	想定値/実績値																					-
CO2排出量	万t-CO2																			0	0	0
	想定値/実績値																					-
エネルギー原単位	kl/百万円																			0.111	0.110	0.104
	想定値/実績値																			92.2%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円																			0.00	0.00	0.00
	想定値/実績値																					-
カバー率(市場規模)																				0.0%	0.0%	-

## 【備考】

※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（%）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（%）

※カバー率実績（企業数）：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合



○実排出係数ケース（実績）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)	34,332	51,553	50,860	52,872	59,997	58,506	62,852	69,309	75,362	80,555	86,353	96,988	89,833	79,347	84,595	79,958	53,202	54,965	0	0	
	目標比																					
	基準年度比	0.65	0.97	0.96	0.99	1.13	1.10	1.18	1.30	1.42	1.51	1.62	1.82	1.69	1.49	1.59	1.50	1.00	1.03	0.00	0.00	
エネルギー消費量	万kl	646	840	815	819	832	803	839	935	978	994	1,048	1,118	1,009	963	956	875	597	563	0	0	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																				-	
CO2排出量（実排出）	万t-CO2	1,111	1,301	1,248	1,308	1,382	1,328	1,453	1,698	1,729	1,806	1,843	2,109	1,864	1,666	1,655	1,804	1,343	1,285	0	0	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																				-	
エネルギー原単位	kl/百万円	0.188	0.163	0.160	0.155	0.139	0.137	0.133	0.135	0.130	0.123	0.121	0.115	0.112	0.121	0.113	0.109	0.112	0.102		0.104	
	進捗率(目標比)																			113%		100%
	想定比																			873%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円	0.324	0.252	0.245	0.247	0.230	0.227	0.231	0.245	0.229	0.224	0.213	0.217	0.207	0.210	0.196	0.226	0.252	0.234		0.000	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																				-	
カバー率実績(企業数)		0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	51.8%	53.5%	0.0%	-

○実排出係数ケース（想定）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)																			0	0	0
	想定値/実績値																					-
エネルギー消費量	万kl																			0	0	0
	想定値/実績値																					-
CO2排出量	万t-CO2																			0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																					-
エネルギー原単位	kl/百万円																			0.111	0.110	0.104
	想定値/実績値																			92.2%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円																			0.00	0.00	0.00
	想定値/実績値																					-
カバー率(市場規模)																				0.0%	0.0%	-

【備考】

※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（%）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（%）

※カバー率実績（企業数）：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

## ○調整後排出係数ケース（実績）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)	34,332	51,553	50,860	52,872	59,997	58,506	62,852	69,309	75,362	80,555	86,353	96,988	89,833	79,347	84,595	79,958	53,202	54,965	0	0	
	目標比																					
	基準年度比	0.65	0.97	0.96	0.99	1.13	1.10	1.18	1.30	1.42	1.51	1.62	1.82	1.69	1.49	1.59	1.50	1.00	1.03	0.00	0.00	
エネルギー消費量	万kl	646	840	815	819	832	803	839	935	978	994	1,048	1,118	1,009	963	956	875	597	563	0	0	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					-
CO2排出量（調整後）	万t-CO2	1,112	1,302	1,247	1,307	1,382	1,328	1,453	1,699	1,730	1,804	1,843	2,109	1,625	1,468	1,450	1,704	1,178	1,285	0	0	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					-
エネルギー原単位	kl/百万円	0.188	0.163	0.160	0.155	0.139	0.137	0.133	0.135	0.130	0.123	0.121	0.115	0.112	0.121	0.113	0.109	0.112	0.102		0.104	
	進捗率(目標比)																			113%		1.00
	想定比																			873%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円	0.324	0.253	0.245	0.247	0.230	0.227	0.231	0.245	0.230	0.224	0.213	0.217	0.181	0.185	0.171	0.213	0.221	0.234		0.000	
	進捗率(目標比)																					
	想定比																					-
カバー率実績(企業数)		0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	51.8%	53.5%	0.0%	-

## ○調整後排出係数ケース（想定）

指標	単位等	1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2020年度目標	
生産活動量	(10億円・実質生産高)																			0	0	0
	想定値/実績値																					-
エネルギー消費量	万kl																			0	0	0
	想定値/実績値																					-
CO2排出量	万t-CO2																			0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																					-
エネルギー原単位	kl/百万円																			0.111	0.110	0.104
	想定値/実績値																			92.2%		-
CO2排出原単位	t-CO2/百万円																			0.00	0.00	0.00
	想定値/実績値																					-
カバー率(市場規模)																				0.0%	0.0%	-

## 【備考】

※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（%）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（%）

※カバー率実績（企業数）：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合